

ISSN 2435-2268

令和3年度

宮崎文化振興協会研究報告書

公益財団法人 宮崎文化振興協会

ごあいさつ

本研究は、当協会の職員が日常の業務を遂行する中で問題点を見つけ、分析し、その対応策を検討するという実践的な研究であり、取り組みを始めて以来、節目の 10 年を迎えました。本年度は5つの研究部門（経営・歴史文化・自然科学・施設管理・催事等実施報告）全てにおいて9つの研究となりました。

いずれの研究も、宮崎文化振興協会の職員として、教育・文化振興という協会の設置目的に沿って、新たな工夫・改善を念頭に、「これからどう進むべきか」や「取り組んだ結果新たにこんな発見があった」など広くご紹介したいものとなっています。

一昨年（2020年）以来、コロナ禍のなか、社会全体で多くの出来事、変化、困難を経験してきました。その中で、新しい社会構造への転換はみられるものの、ウイルスの終息は、今も見えず混沌とした状況にあります。

そのような中で、2021年10月ノーベル物理学賞を受賞された眞鍋淑郎さんが、「気候変動の研究を行った原動力は好奇心であった。研究を始めた当初は、のちに気候変動が重要な問題になることも、自身が大きな成果を生むことも想像していなかった。」と述べられています。

こんな閉塞感の漂う時であるからこそ、流行りの研究に偏ることなく、自分の本当の好奇心に沿って、課題と指針を投げかけていくことが重要で、そのことが新たな展開や真に必要な方策につながるものとなり、地域の皆さんへの貢献になるものと確信しています。

結びに、日常業務に加え、様々な防疫業務を行いながら研究に取り組んだ職員の更なる精進のためにも、この報告書をご一読いただき、研究事業に対するご意見をいただければ幸いです。

令和4年3月吉日

公益財団法人 宮崎文化振興協会
理事長 小泉 英一

目次

1. 研究論文

経営部門

《協会事務局》

- 宮崎文化振興協会理科教育施設における SDGs への取組の充実
～主催事業及び展示物等への SDGs ロゴの添付、活用を通して～ . . . 1

歴史・文化部門

《宮崎市佐土原歴史資料館》

- 確かな歴史ファンを増やす歴史体験学習講座の在り方について . . . 7

自然科学部門

《大淀川学習館》

- 特色ある自然楽習園の実現に向けた取り組み
～様々なチョウが観察できる空間を目指して～ . . . 13

- 円形水槽における水質改善と生体展示安定化に関する研究 . . . 18

施設管理部門

《宮崎科学技術館》

宮崎科学技術館の魅力を更に引き出す「モバイルガイド」導入に向けて
～外国人来館者への対応及び展示物解説等の充実～ . . . 24

ロケットの魅力発信基地を目指して
～サイエンスショーの開発・実践とオリジナル冊子の作成～ . . . 30

新展示物 4D-VR 導入における宮崎科学技術館への効果と課題について
. . . 35

催事等実施報告部門

《宮崎市生目の杜遊古館》

「宮崎市歴史資料館 3 館マスコットキャラクタースタンプラリー」の
実施について . . . 42

《大淀川学習館》

Edible Insects ～昆虫食展の実施に向けて～ . . . 48

2. 審査会講評 . . . 56

3. 先行研究一覧 . . . 62

4. 参考 . . . 79

1. 研究論文

